

道徳的に善い人は美しい？

信号検出理論を用いた実験心理学的検討

Is a morally good person beautiful?

Psychological experiments using the signal detection theory

河内建・西澤理奈・河地庸介
(東北大学)

背景

Introduction

▶ 先行研究

▶ 身体的魅力度が高い → 性格もよい
⇒ 美人ステレオタイプ (Dion et al., 1972)
What is beautiful is good” stereotype

▶ 顔の美しさ判断と道徳的美しさ判断には
共通の脳活動が見られる (Luo et al., 2019)

▶ 先行研究の課題

顔の美しさと道徳的美しさの関連の背景
にある情報処理過程が不明

▶ 目的

道徳的な文脈情報により顔の美しさ評定
が変化するか検討(実験1)した上で、
信号検出理論を用い、評定値の変化の
背景にある情報処理過程を検討(実験2)
すること

道徳的な文脈情報があると...

顔の美しさ
そのものが
変化？



顔の美しさの
判断基準が
変化？

方法

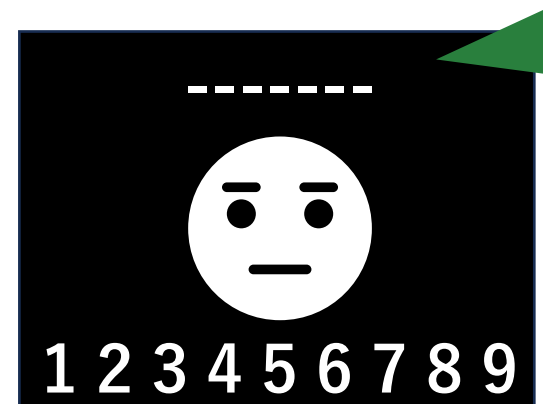
Methods

Experiment 1

63名(女性31名, $Age = 21.67$, $SD = 1.16$)

▶ 顔画像

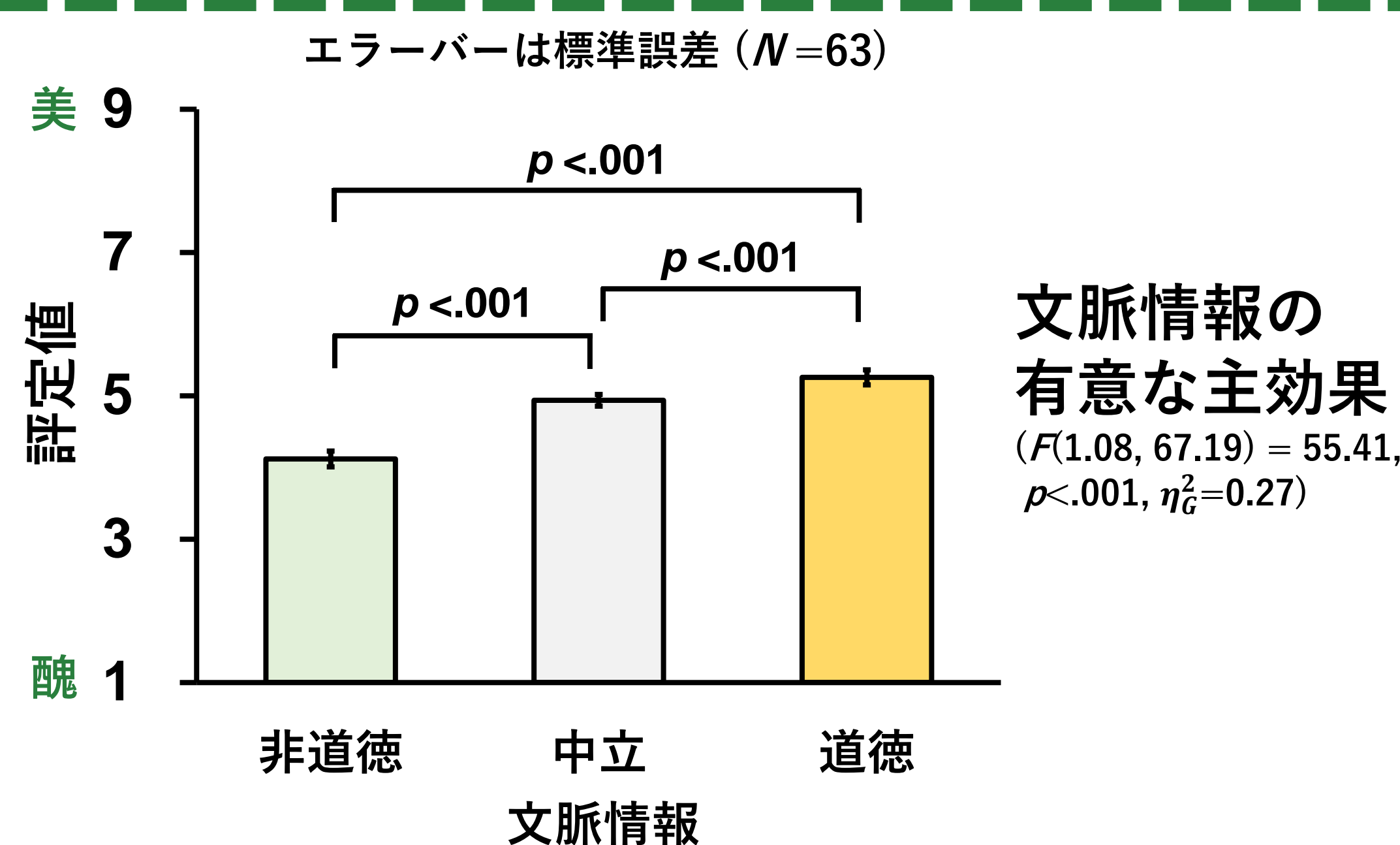
Chicago Face Database (2015)から
96枚の顔画像を予備実験により選定



道徳, 中立, 非道徳条件の
いずれかの文章が提示

1: 醜い ~ 9: 美しいの9件法で
顔画像を評定

評定値を従属変数とし、文脈情報を要因とする
1要因3水準の参加者内分散分析



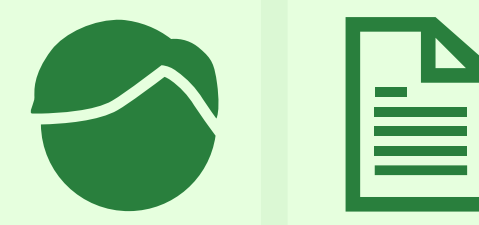
- 文脈情報の付与によって、顔画像の評定値が変化することを確認
- 先行研究(Luo et al., 2019)の結果を再現

Experiment 2

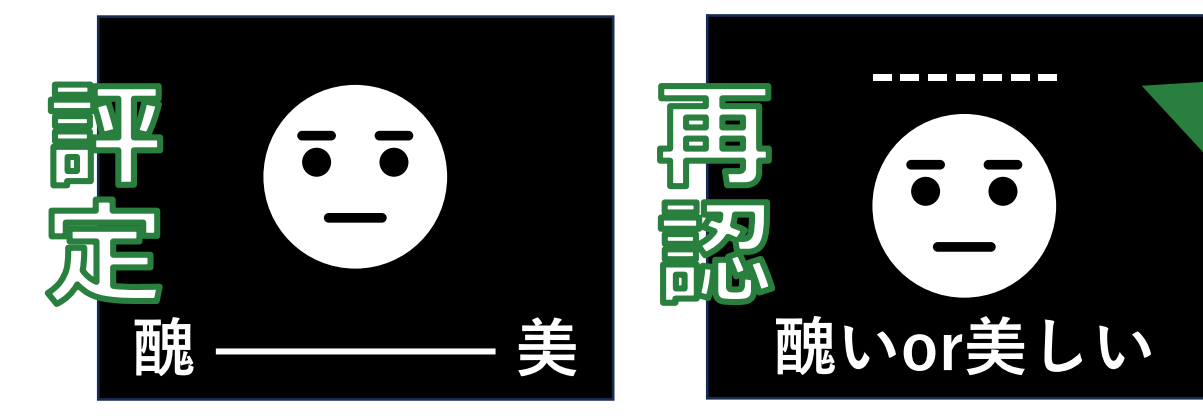
24名(女性13名, $Age = 21.67$, $SD = 1.13$)

▶ 道徳文

道徳的美しさに関する文章 (Sevinc et al., 2017) を日本語訳し、予備調査から36文(道徳, 中立, 非道徳条件各12文)選定



手続き



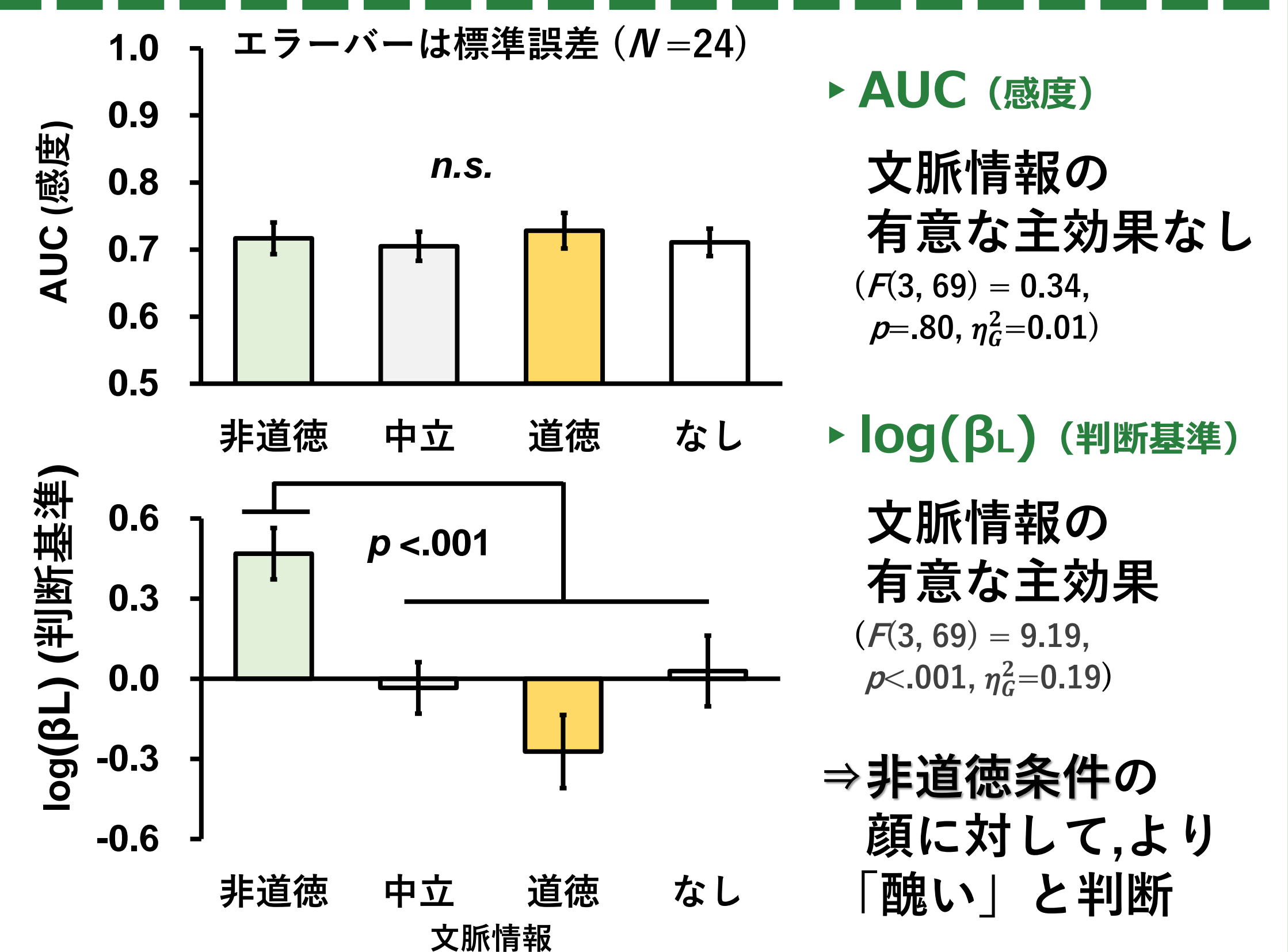
評定の上/下位50%を美/醜顔として判断

道徳, 中立, 非道徳,
文脈情報なしの
いずれかが提示

分析

再認課題のヒット率と誤警報率からAUC(感度)とlog(βL)(判断基準)を算出

AUCとlog(βL)を従属変数とし、文脈情報を要因とする
1要因4水準の参加者内分散分析



結果 & 考察

Results & Discussion

▶ 実験1 & 2の結果から

道徳的な文脈情報の付与によって、

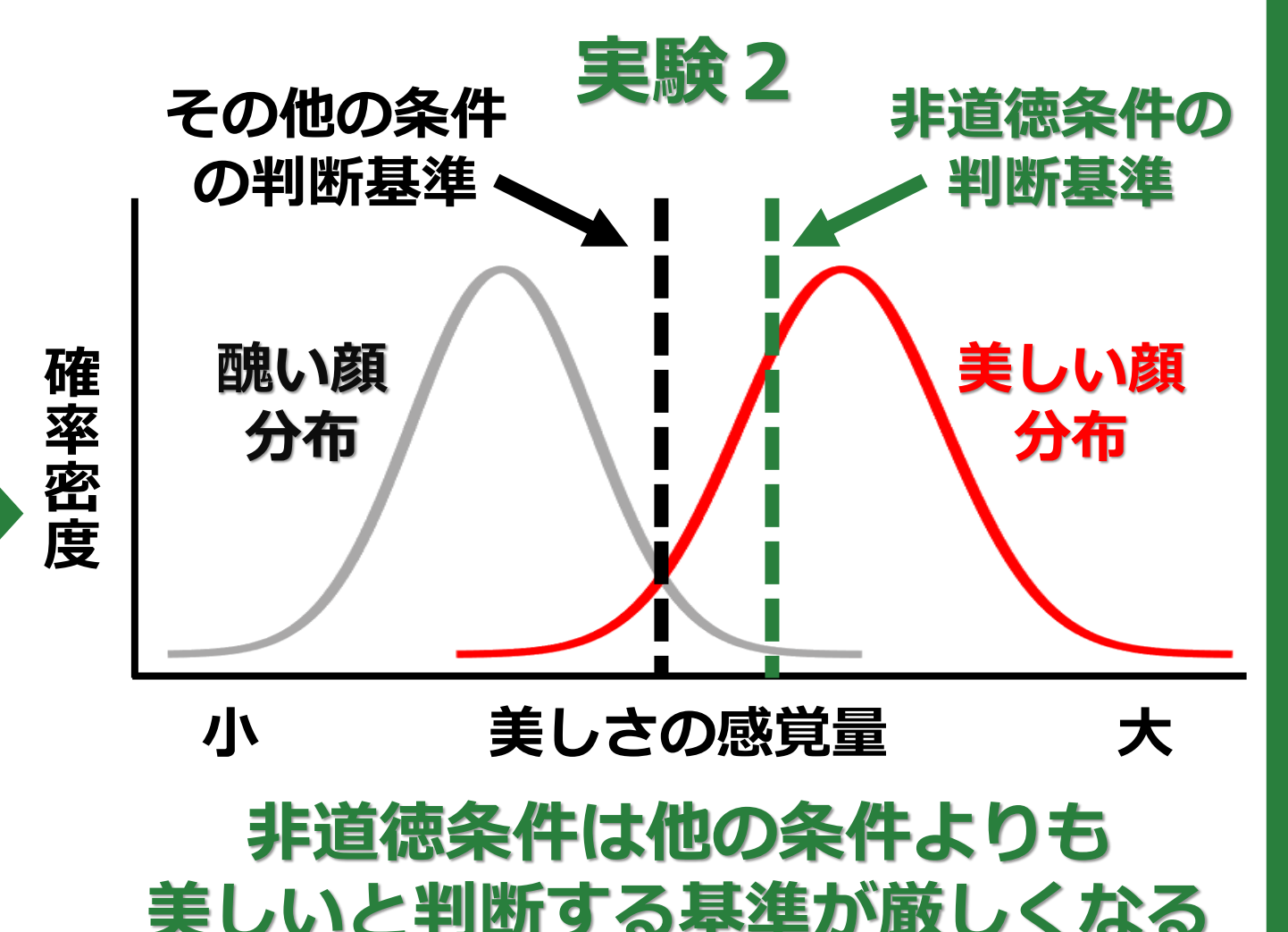
- 顔の美醜評定値が変化(非道徳 < 中立 < 道徳)
- 顔の美醜判断(再認)において、非道徳条件が他の条件よりも保守的な判断基準

顔の美しさ評定の変化には、判断基準
の変化が影響している可能性が示唆

実験1



本研究結果のイメージ図



総合考察

General Discussion

本研究に関して、開示すべき利益相反関連事項はない。

本研究は、JST 次世代研究者挑戦的研究プログラム JPMJSP2114 の支援を受けた。